

事務事業名	新産業クラスター事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	14	終了	
H27担当課等名	工業課	H27係等名	工業振興係	H26係等名	工業振興係							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり									
目的	対象(誰・何を)	クラスター形成を目指す意志のある企業						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	成長性の高い産業分野(航空機産業等)のクラスターを形成することで、地域経済の安定成長をねらう。							飯田メディカルバイオクラスター参加企業数	51		
	向上させたい上位施策の成果指標	粗付加価値額 飯田下伊那 (億円)							航空宇宙プロジェクト参加企業数	38		
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	航空機部品の共同受注件数(エアロスペース飯田)				70	181	100	60			
	成果指標	航空機部品出荷額(PJ分 多摩川精機を除く)(億円)				9	9.2	9	10			
	定性目標											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新産業分野の参入を目指す企業を中心にテーマ別プロジェクトの立ち上げと共同受注及び共同開発の活動を支援する。</li> <li>・企業OBによるコーディネーターを配置する。</li> <li>・航空宇宙産業クラスターの形成を目指し、航空機部品受注のために要求される課題解決に向けプロジェクト及び4つのワーキングチームの活動を重点的に支援する。航空宇宙プロジェクト 参加企業38社 ワーキングチーム ①共同受注チーム②QMSチーム③ソフトチーム④加工チーム</li> <li>・健康長寿社会への対応を進めるため、メディカルバイオクラスター形成を目指し、協議会を立ち上げ、運営を支援する。</li> </ul>											
事業内容						名称			活動指標			
26年度事業内容	1 航空宇宙産業クラスターの形成支援 地域連携マネージャー及び新たな航空関連専門コーディネーター2名配置し、3事業を推進。 (1)中核企業を中心に一貫生産・受注体制の構築支援(新規) (2)特殊工程工場のNADCAP認証取得及び技術者の育成支援(新規) (3)「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」参画手続き						1 PJ会議回数			1 6回		
	2 メディカルバイオクラスターの形成支援 (1)2つの分科会の活動支援						WT会議回数			110回		
	3 環境産業への製品開発支援 (1)マイクロ水力発電実証事業の評価・検証						Aerospace IIDA会議回数			33回		
	4 食品産業クラスターの形成支援 (1)プロジェクトの立ち上げと活動支援						(1)コンサル実施数			(1)44回		
	5 EMCセンター試験設備の更新						2 (1)分科会回数			2 (1)12回		
							3 (1)技術支援回数			3 (1)38回		
						4 (1)研究会回数			4 (1)3回			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		61,749	62,570	21,005	10,070	(そ)航空宇宙産業クラスター拠点工場用地使用料 4,870千円 26→27 繰越明許費 40,000千円						
国庫支出金												
県支出金		3,774										
起債												
その他		2,435	57,370	4,869	4,870							
一般財源		55,540	5,200	16,136	5,200							
人件費計(千円)②		8,046		7,367								
正規職員所要時間		2,250		2,000								
臨時職員所要時間				200								
総事業費①+②		69,795	62,570	28,372	10,070							
事業内容・目標達成状況の振り返り	航空宇宙産業のクラスター形成については、地域における技術的課題であった「特殊工程」の拠点工場(熱処理工場棟及び表面処理工場棟)を年度内に完成することができた。その他、人材的課題「品質管理・生産技術」に対しては、専門人材活用によるOJT研修を実施することができた。また、メディカルバイオクラスターについては、2つの分科会による情報収集を継続的に実施した。											
改革改善の考え方	①問題点	メディカルバイオや食品の取り組みをサポートするコーディネーターが不在であり、マネジメントに苦慮している。										
	②改革提案	医療現場側のコーディネーターを新たに1名配置して、医療現場のニーズを探りながら企業の新たな製品・技術開発に結びつけていきたい。										